

新時代における日本企業の 対中戦略

—トヨタ自動車を事例として—

経済のグローバル化は逆戻りできない歴史的な趨勢といえよう。しかし、日本と中国の間にかぎっていえば、この潮流に逆らうような現象が起きているかに見える。例えば、両国間の政治的要因による貿易額の縮小や、中国国内の人件費高騰による日系企業の撤退や、中国市場における日系企業のシェアの低下などがあげられる。このような状況の中、本講演では、新時代の基本的特徴を整理した上で、中国経済の現実を説明し、中国市場におけるトヨタ自動車と現代自動車のパフォーマンスを比較することによって中国市場における重要成功要因（KSF）を探りたい。

〈講演者〉 **于 金 (Yu Jin)**
河海大学 (中国) 商学院教授

〈日 時〉：2013年 12月6日 (金)

10時40分～12時10分

〈場 所〉：駿河台キャンパス、
リバティ・タワー 1124教室 (12階)

〈対象者〉：学部生 院生 教員 社会人

〈言 語〉：日本語

〈セミナー推進者〉：加藤 志津子 明治大学経営学部専任教授

○ 新時代の基本的特徴

○ わかりにくい中国経済

○ 中国市場におけるトヨタ自動車と
現代自動車—違いは何か？

○ 日本企業の対中戦略に
関する提言